

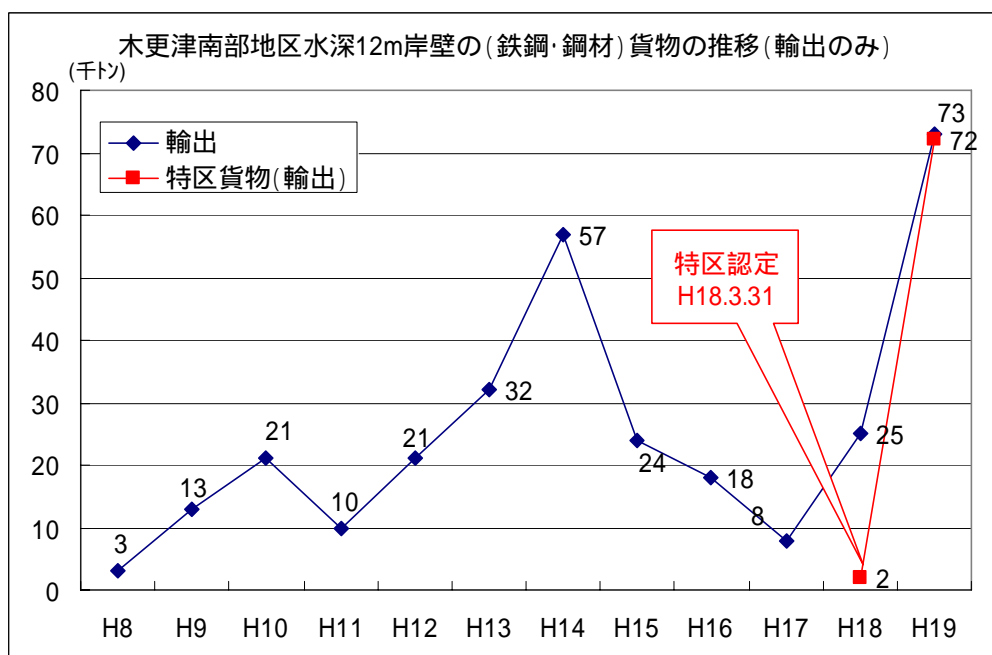
## 木更津港湾物流効率化特区

### 特区の概要

木更津港は京葉工業地帯の一翼を担う港であり、大型船の接岸可能な公共岸壁(-12m)も整備されている。周辺に立地する鉄鋼関連企業は、近年、中国を中心に輸出が好調で、企業内の専用埠頭では出荷能力に余裕がない状況にある。しかし、これまで陸上輸送の規制から大型公共岸壁の能力を十分に活かすことができなかった。このため、工場から公共岸壁に至る間において特殊な大型車両（最大積載量約140トン）を利用した効率的な貨物の輸送を可能とすることで、公共ふ頭の一層の利用促進と企業の物流コスト削減を実現し、立地企業の競争力の強化と産業の活性化を図り、市の基本方向の1つでもある「活力あふれる産業づくり」の実現を目指す。

### 適用される規制の特例措置

#### 特殊な大型車両による港湾物流効率化事業

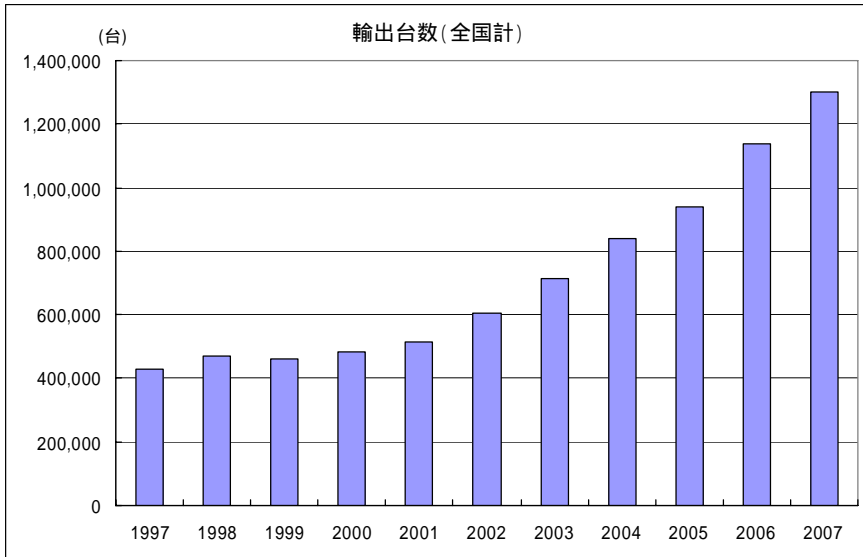


	特区貨物
H18.10～12(3ヶ月)	2千トン
H19.01～12	72千トン
H20.01～08(8ヶ月)	99千トン

#### 4) 輸送機械 (中古自動車)

木更津港木更津南部地区にある水深 12m 岸壁にて、中古車の輸出が開始された。中古車は、木更津港背後に立地している企業の貨物であり、月 2 回程度の入港を予定している。

第 1 船は平成 20 年 8 月 20 日に入港し、約 430 台の中古車を積み込み、南アフリカ・ケニア・タンザニアに向けて 8 月 21 日に出港した。



単位: 千台

輸出先	台数	割合
1 ロシア	478	37%
2 アラブ首長国連邦	122	9%
3 ニュージーランド	101	8%
4 チリ	96	7%
5 ケニア	42	3%
6 南アフリカ共和国	38	3%
7 ベルギー	28	2%
8 フィリピン	27	2%
9 シンガポール	24	2%
10 イギリス	24	2%
輸出台数計(全国)	1,299	100%

#### 中古車の荷役状況



## 2 - 4 係留施設構成と利用状況

### (1) 係留施設別貨物取扱状況(平成19年実績)

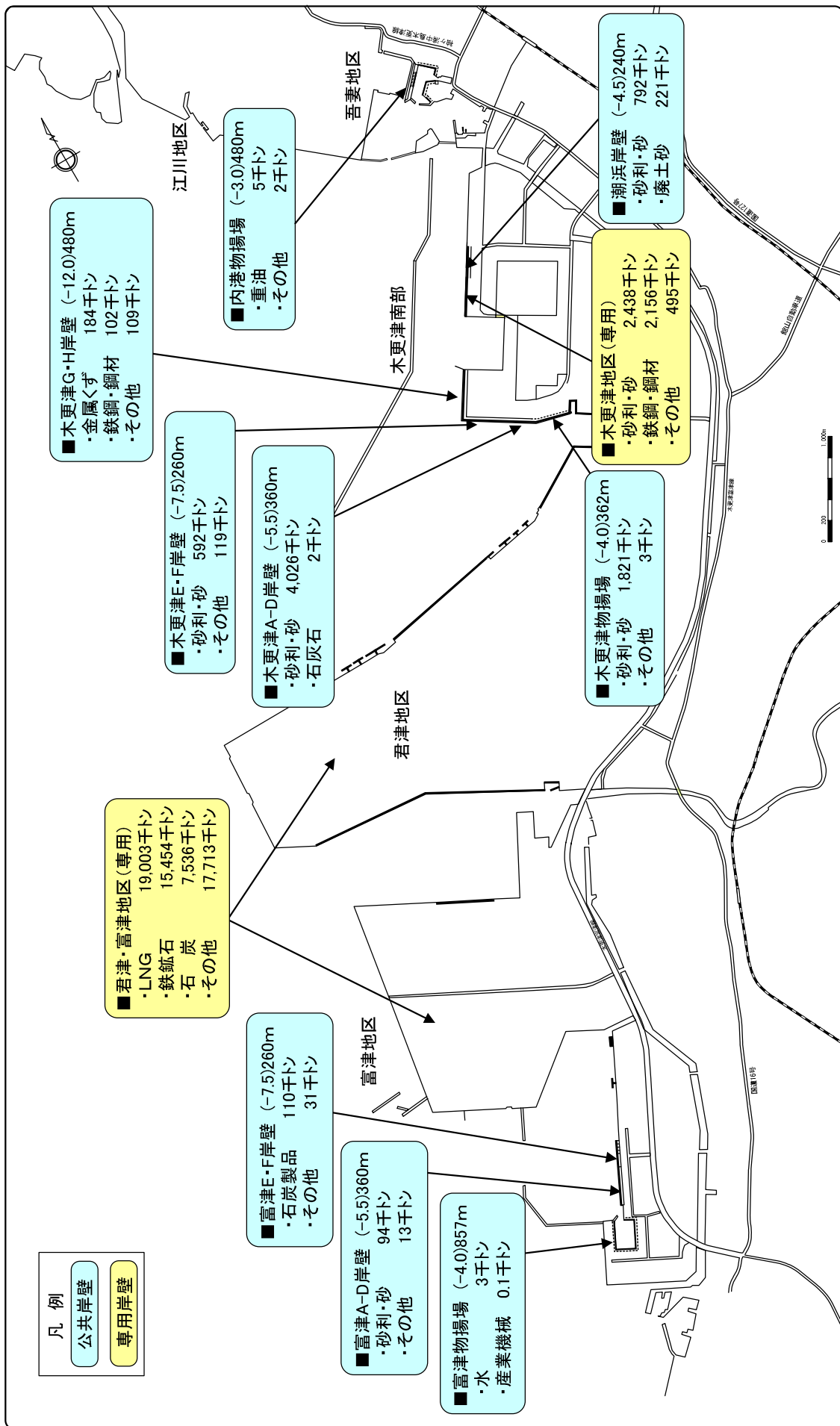
公共ふ頭における係留施設別取扱品目は、木更津G・H岸壁(水深12m)だけが原木、木製品を取り扱っており、木更津G・H岸壁(水深12m)、富津埠頭E・F岸壁(水深7.5m)を除く岸壁は全て砂利・砂の取扱岸壁となっている。

延長(m)当たり取扱量としては、木更津南部地区の利用率は高く、特に砂利・砂を取り扱っている岸壁は平均が7,000~8,000ト/mとなっている。

富津地区の公共ふ頭の延長(m)当たり取扱量の平均は300~400ト/mと低いが、羽田空港再拡張工事や、東京臨海道路のヤードとして利用されている。

	地区名	施設規模			備考
公共ふ頭	木更津南部地区	水深12m	2バース	延長480m	
		水深7.5m	2バース	延長260m	
		水深5.5m	4バース	延長360m	
		水深4.5m	4バース	延長240m	
		水深4.0m		延長362m	
	富津地区	水深7.5m	2バース	延長260m	
		水深5.5m	4バース	延長360m	
専用ふ頭	木更津南部地区	水深4.5m		延長370m	丸和建材社、三栄港運等
		水深6.5m	3バース	延長350m	トーヨーカネツ(株)
	君津地区	水深3~19m	4 2バース		新日本製鐵等
	富津地区	水深6.5m		延長550m	新日本製鐵
		水深14m	ドルフィン		東京電力
		水深7.5m	ドルフィン		ビスキャス

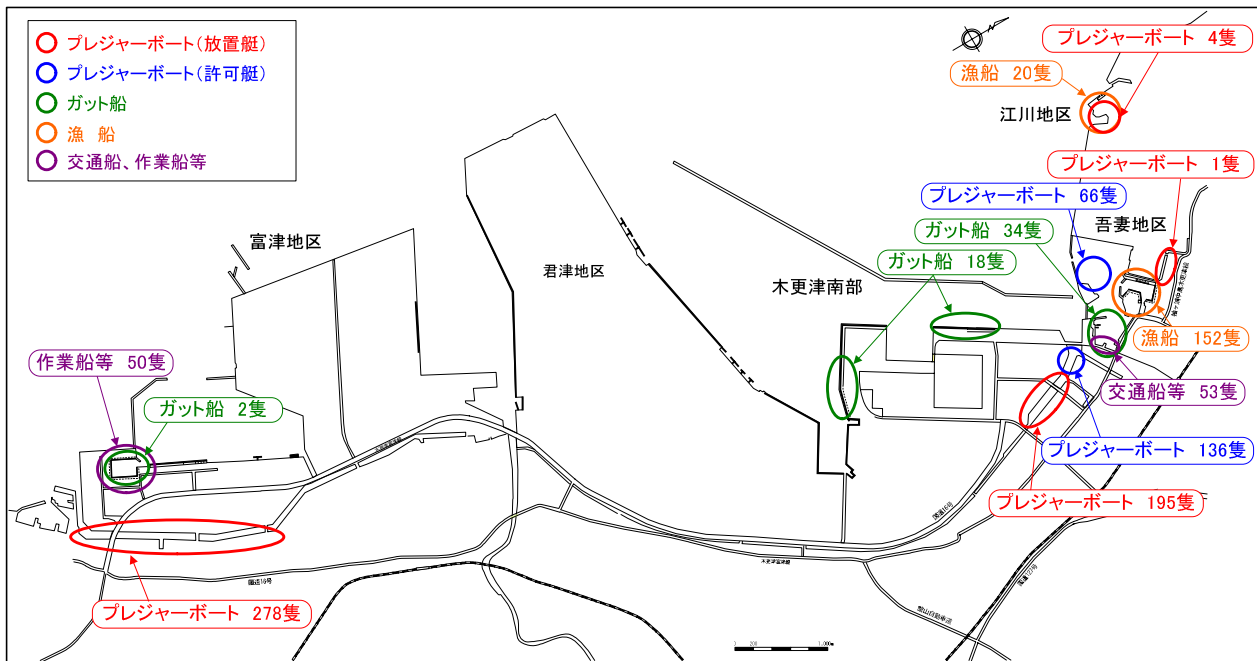
係留施設別貨物量（平成19年実績）



(2) 小型船の係留状況

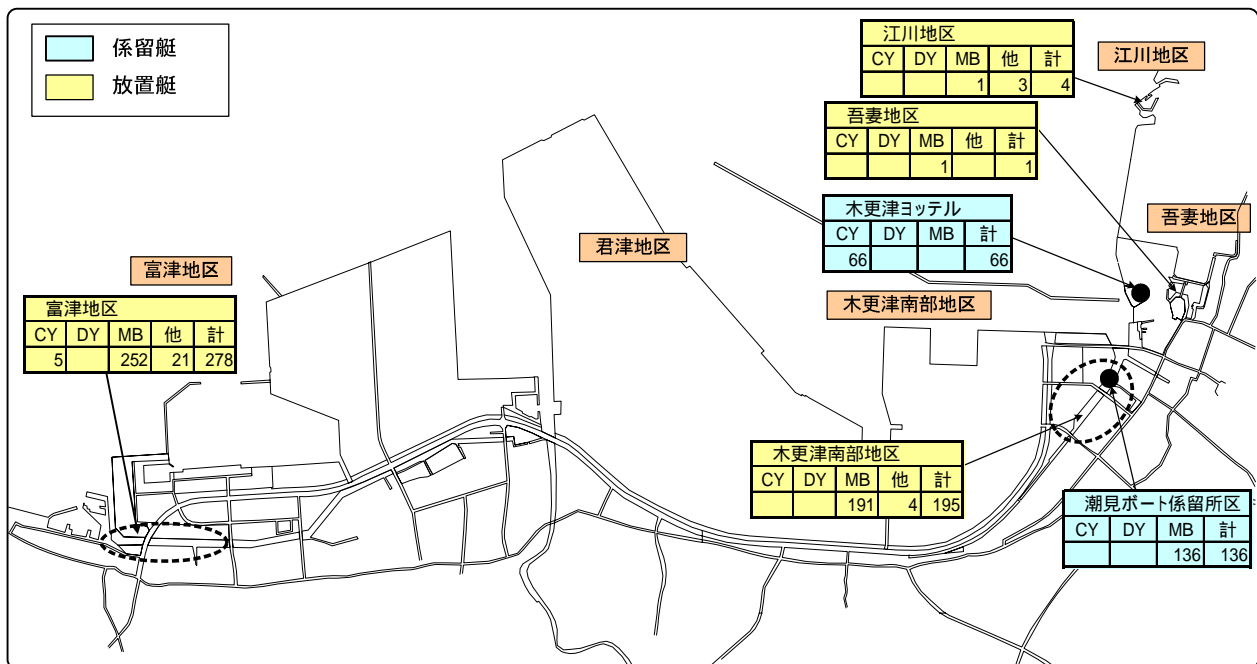
1) 小型船の係留位置

木更津港内の小型船の係留状況は以下に示すとおりであり、プレジャーボート 680 隻、作業船(ガット船) 54 隻、交通船等 53 隻、作業船等 50 隻、漁船 172 隻が係留している。



2) プレジャーボートの係留状況

木更津港の港湾区域内に係留されているプレジャーボートは 680 隻である。  
(平成 19 年 11 月調査)  
このうち、許可水域(暫定係留)に係留されている隻数は 202 隻である。

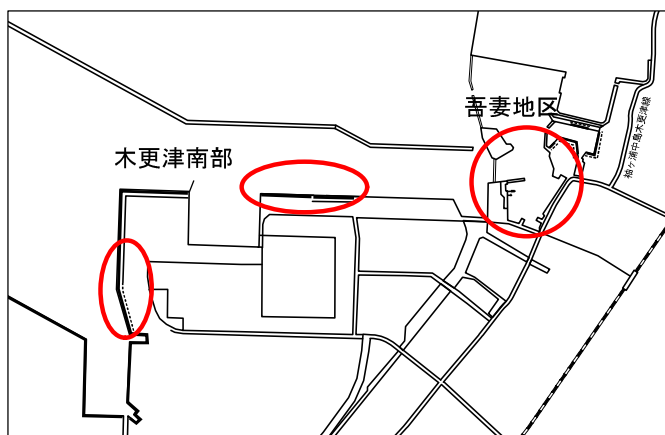


### 3) 作業船（ガット船）の係留状況

作業船（ガット船）の休憩用岸壁として、吾妻地区内港物揚場が利用されている。  
 平成 20 年のアンケート調査では、木更津港を停泊地とする作業船（ガット船）は 54 隻となっている。

木更津港に係留しているガット船隻数

	吾妻地区	木更津南部地区	富津地区	木更津港合計
ガット船	34隻	18隻	2隻	54隻



作業船（ガット船）係留状況





#### 4) 交通船等

交通船等の係留位置は、以下に示すとおりであり、交通船等 53 隻が係留している。

交通船等の係留状況



用途	隻数
交通船等	36
工事監督船	1
清掃船	1
遊漁船	15
計	53

資料: 千葉県

交通船等係留状況



## 2 - 5 入港船舶の状況

### (1) 入港船舶隻数及び総トン数の推移

木更津港に入港する船舶は、平成 11 年以降、22,000 隻前後で推移していたが、平成 19 年の貨物の増加に伴い、29,500 隻程度に増加している。

船種別隻数は内航貨物船が 75% を占めており、これらは殆ど砂利・砂運搬船である。

内航貨物船（砂利・砂運搬船）の平均船型は 600 総トン以下の小型船である。

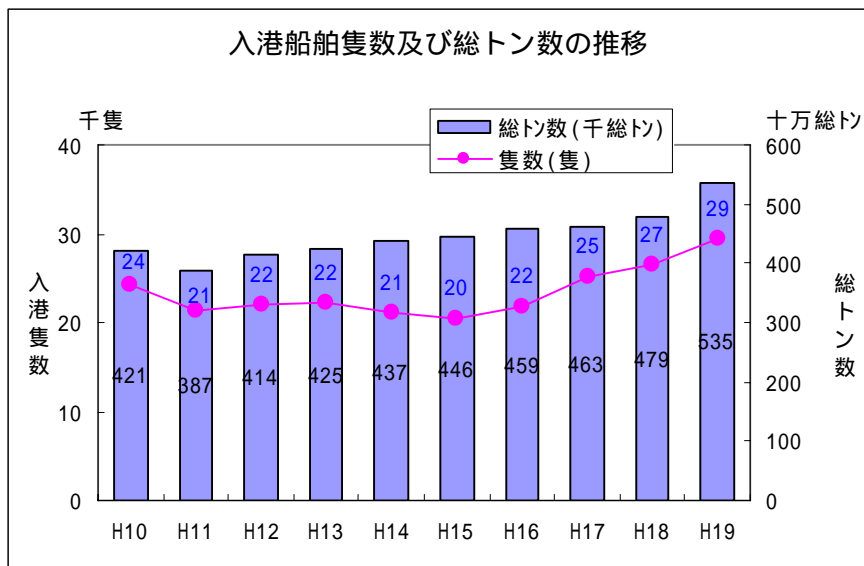
内航貨物船のトン階級別入港隻数は、100～499 総トンが 86% を占め、次いで 500～999 総トンが 11% と殆ど小型船である。

外航貨物船は 1,000～2,999 総トンが 36%、次いで 3000～5999 総トンが 20% を占めている。

係留施設別（公共）の入港隻数は、木更津 A～D 岸壁に 5,747 隻、次いで木更津物揚場に 3,314 隻、内港物揚場に 2,426 隻、潮浜岸壁に 1,889 隻、木更津 E・F 岸壁に 1,035 隻、富津岸壁に 576 隻、木更津 G・H 岸壁に 107 隻となっている。

入港船舶隻数及び総トン数の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
隻数(隻)	24,319	21,388	22,060	22,295	21,221	20,449	21,874	25,126	26,563	29,462
総トン数(千総トン)	42,132	38,674	41,364	42,473	43,662	44,569	45,860	46,329	47,898	53,542



船種別入港船舶隻数の推移

単位: 隻

船舶種類	H15	H16	H17	H18	H19	
外航商船	1,194	1,277	1,172	1,214	1,353	4.6%
貨物船	1,062	1,155	1,052	1,094	1,218	4.1%
LNGタンカー	132	122	120	120	135	0.5%
内航商船	14,906	15,716	19,492	20,684	22,608	76.7%
貨物船	14,182	15,145	18,925	20,132	22,041	74.8%
タンカー	724	571	567	552	567	1.9%
独行はしけ	199	189	171	206	181	0.6%
押・引船	3,991	4,560	4,172	4,336	5,190	17.6%
その他	159	132	119	123	130	0.4%
合計	20,449	21,874	25,126	26,563	29,462	100.0%

船種別平均船型の推移

単位: 総トン/隻

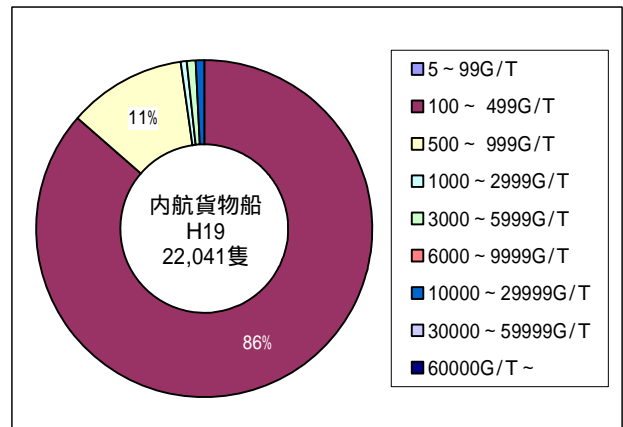
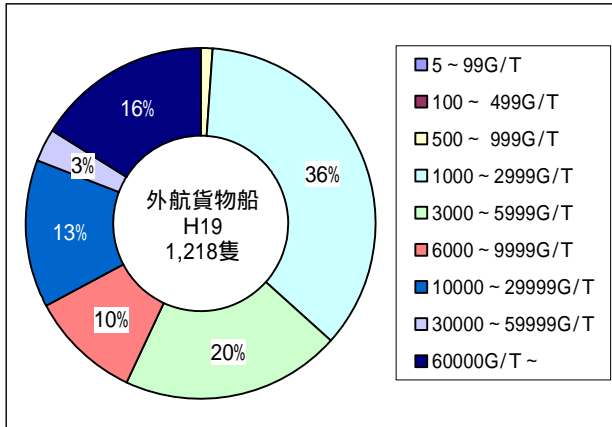
船舶種類	H15	H16	H17	H18	H19
外航商船	29,279	27,938	29,587	29,251	29,234
貨物船	21,001	20,844	22,040	21,267	21,070
LNGタンカー	95,885	95,099	95,744	102,046	102,894
内航商船	606	606	565	565	585
貨物船	607	607	565	564	584
タンカー	596	593	589	590	610
独行はしけ	176	175	175	169	169
押・引船	123	129	137	138	134
その他	308	240	264	579	303
合計	2,179	2,097	1,844	1,803	1,817



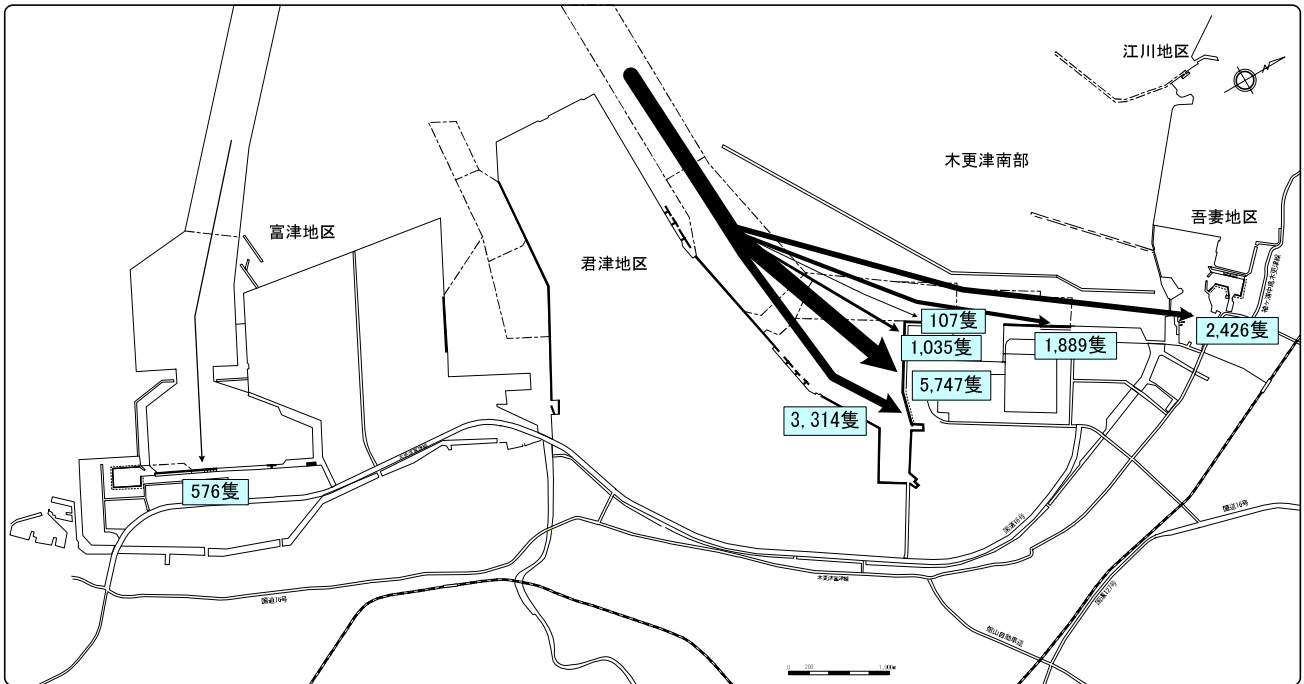
トン階級別入港隻数及びシェア（平成 19 年実績）

単位：隻

	5～ 99G/T	100～ 499G/T	500～ 999G/T	1000～ 2999G/T	3000～ 5999G/T	6000～ 9999G/T	10000～ 29999G/T	30000～ 59999G/T	60000 G/T～	計
外航貨物船		1	13	434	245	126	164	40	195	1,218
		0%	1%	36%	20%	10%	13%	3%	16%	100%
内航貨物船	17	19,026	2,487	161	151	45	154			22,041
	0%	86%	11%	1%	1%	0%	1%			100%



係留施設別入港隻数（公共）（平成 19 年実績）



## 2 - 6 地域活性化の取り組み状況等

木更津市は港を活かした地域活性化の取り組みとして、花火大会でのレストラン船クルーズの誘致や内港のクルージング、ヨット体験セイリング、レストラン船（ヴァンテアン）クルーズなどを誘致し実施している。

各イベントの参加人数は以下に示すとおりであり、100名以上の参加があるものもある。このように、木更津市内及び周辺の地域住民において、木更津港を活用した海洋性レクリエーション需要はあるものと考えられる。

また、木更津港にはプレジャーボートも800隻以上あり、きさらづ海の駅を利用する東京湾内のプレジャーボートも多いことから、湾内のプレジャーボートが利用し地域活性化が図れる施設整備が望まれている。

### イベント開催状況（抜粋）

	イベント	開催日	参加人数 (人)	内 容
	「べいくりん」体験乗船会 (国土交通省所有)	H20.8.27	32	東京湾の清掃船「べいくりん」に乗船し、ゴミ回収作業を見学
	花火大会レストラン船 クルーズ	H20.8.15	106	木更津港まつりの花火大会にあわせ、レストラン船を内港に誘致
	内港クルージング	H20.8.15	130	「まち」「みなと」の関わり合いの学習を目的に木更津港内港からプレジャーボートの体験クルージングを実施
	海上保安庁巡視船「やしま」 艦内見学会	H20.8.15	1,026	海上保安業務に関する理解を深めてもらうため、木更津港まつりの一環として巡視船「やしま」の艦内見学会を実施
	ヨット体験クルージング	H20.3.22	44	ヨットの体験セイリング実施
	ハゼ釣り大会	H19.10.7	60	木更津港内の棧橋にてハゼ釣り大会を実施
	ヴァンテアンクルーズ	H19.8.15	400	木更津港まつりの花火にあわせて、東京竹芝棧橋で就航しているレストラン船「ヴァンテアン」を誘致

資料：木更津市 HP より作成

「べいくりん」体験乗船会



花火大会レストラン船クルーズ



内港クルージング



海上保安庁巡視船「やしま」艦内見学会



ヨット体験クルージング



ヴァンテアンクルーズ



## きさらづ海の駅

木更津港内港地区には、多くのヨット、プレジャーボートが係留できる「きさらづ海の駅」が整備されている。(登録日：平成 17 年 3 月 26 日)

横浜方面からは約 40 分、東京方面からは約 1 時間の至近距離にあり、プレジャーボートの一時係留などに利用可能である。



- 海の駅とは -

海の駅とは、国土交通省関東運輸局が事務局である東日本「海の駅」設置推進会議が登録を行う船舶係留施設であり、ヨット、プレジャーボート等の利用環境整備や情報のネットワーク化を目標に設置され、地域の交流・振興の拠点として「誰でも、気軽に、安心して」立ち寄れる場所である。

### 《参考事例》

#### 保田漁港

保田漁港直営の「お食事処ばんや」、ラムネ温泉「ばんやの湯」があり、週末には多くのプレジャーボート客が訪れ賑わっている。





## 《参考事例》東京湾内の遊覧船・レストラン船

東京湾内の遊覧船・レストラン船の主なものを以下に示す。

港湾名	運航船社・概要	利用船舶
千葉港	<p>千葉ポートサービス(株)</p> <p>千葉中央地区周辺を周遊するコースや幕張メッセ沖を遊覧するコース、夕暮れから出航するナイトクルーズなどがある</p> <p>千葉港めぐり(40分) 幕張メッセ沖合遊覧(50分)など 休日1便/日</p>	
東京港	<p>東京ヴァンテアングルーズ(株)</p> <p>東京港内を周遊しつつ、ランチ、サンセット、ディナータイムを船の中で食事をしながら楽しめる。</p> <p>ランチクルーズ(120分) サンセットクルーズ(120分) ディナークルーズ(140分) 平日・休日とも1便/日</p>	
横浜港	<p>(株)ポートサービス</p> <p>横浜港内を周遊する遊覧船とランチ、サンセット、ディナータイムを船の中で食事をしながら楽しめるレストラン船の2種類ある。</p> <p>周遊コース(40分・60分・90分) ランチクルーズ(120分) サンセットクルーズ(120分) ディナークルーズ(140分) 平日・休日とも1~4便/日</p>	
横須賀港	<p>(株)トライアングル</p> <p>横須賀港周辺を周遊する遊覧船であり、無人島の猿島へ上陸できる航路や米軍・海上自衛隊の基地を周遊する軍港クルーズ、観音崎・横須賀美術館などをめぐる観音崎クルーズの3種類がある。</p> <p>猿島航路(10分) 9便/日 軍港クルーズ(50分) 4便/日 観音崎クルーズ(80分) 3便/日</p>	